

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

学校名
廿日市市立平良小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
学級数	3	3	3	3	3	3	18	3	21

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

指導教科名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
理科	5	3	3	9	
理科	6	3	3	9	

授業時数 計 18 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
理科	3	3	2.6	7.8	

授業時数 計 7.8 (b)

授業時数 合計 25.8 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	2	1	2	1
6年 1組 (担任: A)	A	A	A	B	推進	専科	A	専科	A	A	A	A	A
6年 2組 (担任: B)	A	A	B	B	推進	専科	B	専科	B	B	B	B	B
6年 3組 (担任: C)	C	C	C	C	推進	専科	C	専科	C	専科	C	C	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 1組 (担任: D)	D	専科	D	D	推進	専科	D	D	D	D	D	D	D
5年 2組 (担任: E)	E	専科	E	E	推進	専科	E	E	E	E	E	E	E
5年 3組 (担任: F)	F	専科	F	F	推進	専科	F	F	F	F	F	F	F

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道徳	外国語活動	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	7		2	5	2.6	1.7	1.7	3	1	1	2	1
3年 1組 (担任: G)	G	G	G	G	推進	専科	G	G	G	G	G	G
3年 2組 (担任: H)	H	H	H	H	推進	専科	H	H	H	H	H	H
3年 3組 (担任: I)	I	I	I	I	推進	専科	I	I	I	I	I	I

4 高学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)				担任する学級の授業時数	授業時数の合計
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)	(d)	(c)+(d)
6-1	32	A	6-2	国語	5	5	18	23
6-2	32	B	6-1	算数	5	5	18	23
6-3	32	C				0	21	21
5-1	34	D				0	23.6	23.6
5-2	33	E				0	23.6	23.6
5-3	31	F				0	23.6	23.6

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

<p>〈効果のあった取組〉</p> <p>① 教科担任がその専門性を生かし、理科における実験・観察や音楽における合奏など児童の学ぶ意欲を引き出すような学習活動を工夫した。</p> <p>② 交換授業をする担任同士や専科担当と各担任間で、児童の様子や学習状況などの情報を共有し、それを次の指導に生かしていた。</p>	▶	<p>〈成果〉</p> <p>① 児童が、その教科を学習する面白さに気づいたり、興味や関心を示しながら、主体的に学んでいく様子が見られた。</p> <p>② 児童アンケートの肯定的回答「勉強の内容がよく分かるようになりました。」第1回78.9%第2回86.3%(7.4ポイント増)、「分からないことや困ったことを相談できる先生が増えました。」第1回61.7%第2回66.4%(4.7ポイント増)。教科担任制で授業を行い続けることで、児童の学習への理解や相談してより理解しようという意欲ともに上昇した。</p> <p>③ 教職員アンケートの肯定的回答「授業を担当している学級や児童に対して、組織的な生徒指導ができています」第1回96.5%第2回95.9%と、高い数値になっている。</p>
<p>〈課題〉</p> <p>① 産休や退職に伴う代員が措置されない状況にあり、教科担任を学級担任に変更せざるを得ない。</p> <p>② 児童アンケートの結果が推進校の平均をかなり下回っている。</p>	▶	<p>〈対策〉</p> <p>① 教科担任制を維持するために、管理職や通級担当などが学級事務や授業を分担して行っている。</p> <p>② 否定的回答が極端に高い学級があり、データを分析すると「教科担任制は担任同士の交換授業だ」と誤った認識が見られた。児童への説明を補足していく。</p>